

田仲つねお 市政レポート

(田仲常郎)

「大きな夢の挑戦者」「小さな声の代弁者」

令和元年10月号

縁に感謝
つねお



TANAKA TSUNEO

PROFILE

昭和41年3月20日生まれ(53歳)
緑ヶ丘第二幼稚園 則松小学校
昭和56年3月則松中学校卒業
昭和59年3月東海大学附属第五高等学校卒業
平成26年3月北九州市立大学地域創生学群
地域創生学類卒業
平成21年1月に市議会議員に初当選。
総務財政委員会 委員
環境建設委員会 委員
平成25年1月に2期日市議会議員に当選。
総務財政委員会・委員長
環境建設委員会 委員
平成29年1月に3期日市議会議員に当選。
環境水道委員会 委員
平成31年3月
環境水道委員会 委員
議会運営委員長 委員長就任 現在に至る

<社会活動&現在の役職>

NPO則松金山川コスモス会 理事長
北九州市花咲く街かどづくり推進協議会副会長
八幡西区花咲く街かどづくり推進協議会会長
北九州なぎなた連盟会長
八幡西地区柔道連盟理事
日本おもと協会東筑支部 相談役
保護司
学校法人緑ヶ丘学園評議員

<http://ameblo.jp/tanaka-tsuneo/>
<http://www.facebook.com/tsuneo.tanaka.161>

市政レポート発行にあたり

秋晴れの心地よい季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。金山川のコスモスも秋咲きの時期を迎え、川辺の散策に花を添え、楽しませてくれています。私もコスモスのように、市民の皆様笑顔に届けることができるよう、人との出会い、そして縁に感謝しつつ、地域貢献と市政の発展に向けて邁進してまいります。今後も、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

令和元年9月議会報告

■平成30年度決算について

① 一般会計の決算

歳入 …… 5,485億2,346万円
歳出 …… 5,453億6,972万円
歳入歳出差し引き31億5,374万円
で、これから繰越にかかる財源を差し引いた実質収支は15億7,665万円の黒字となっています。

○特別会計

国民健康保険特別会計ほか20会計で、
歳入 …… 4,069億8,190万円
歳出 …… 3,930億8,540万円
歳入歳出差し引き138億9,650万円
で、これから繰越にかかる財源を差し引いた実質収支は137億902万円の黒字となっています。

○企業会計

損益収支は、上水道事業会計、工業用水道事業会計、下水道事業会計、公営競技事業会計の4会計が黒字となり、交通事業会計、病院事業会計の2会計が赤字となりますが、年度末資金剰余は6会計全てで黒字となっています。

2. 決算の概要について

北九州市が誕生してから55周年の節目の年であり、本市のさらなる発展に向けて、平成30年度は特に重点的に取り組むべき「4つの柱」を掲げて、市政運営に取り組まれました。

① 『「ぎわい」を創出し、新しいひとの流れをつくる』

2020年の「東アジア文化都市」の開催都市に選定されたほか、本市の強みである映画や漫画などのメディア芸術の国際的な創造拠点の形成に向けた取り組みを行いました。また、「ワールドラグビー女子セブンズシリーズ」や「卓球ジャパンオープン」杯杯北九州大会」等の国際スポーツ大会を開催し、ラグビーワールドカップ2019のキャンペーン実施に向け、ウェールズラグビー協会とともに市民との交流プログラムを実施しました。

さらに、小倉城内の広場整備や天守閣の展示リニューアルを進め、日本新三大夜景都市の選定を契機として、小倉都心地区のライトアップなどの夜間景観の整備を行い、本市の魅力を全

国に発信しました。

その他、新卒者等の市内企業への就職や市内定住を促進するため、奨学金の返還を支援する「北九州市未来人材支援事業」の実施や首都圏において本市の住みよさ、働きやすさを発信するイベント「KitaQフェスティバルTokyo」を平成29年度に引き続き開催しました。

② 『魅力あるしごとを創出し、活力あるまちをつくる』

内閣府の「地方大学・地域産業創出事業」の採択を機に、産業用ロボットの研究開発と地域企業の生産性革命を推進するための事業を実施しました。

また、OECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に選定されたほか、「地域エネルギー次世代モデル事業」が国から自治体SDGsモデル事業として採択されました。

さらに、市民生活の利便性向上、物流振興や企業活動の活性化等に弾みをつけるため、12月より若戸大橋・若戸トンネルの無料化を実施しました。北九州空港の活用では、路線誘致に取組み、過去最高となる178万人を達成しました。

また、市学校施設の老朽化対策を重点的に実施、小倉駅南口東地区の市街地再開発や旧小倉ホテル跡地を活用した広場の整備など、小倉都心部のさらなるぎわいの創出に向けた取組を実施しました。

③ 『安心して子どもを産み育てることのできるまちをつくる』

保育所整備や認定こども園移行のための施設整備助成など、待機児童対策を推進するとともに、放課後児童クラブの増設策を実施したほか、「子ども食堂」の活動支援のための助成制度を拡充し、コーディネーターを配置しました。

また、特別支援教育のための環境整備を推進し、学力向上に向けた取組みとして、英語に堪能な日本人外国語指導手を配置したほか、放課後等を活用して学習機会を提供する「子どもひまわり学習塾」を着実に実施しました。

さらに、部活動振興や教員の負担軽減を図るため、教員に代わって、指導や引率等を担う「部活動指導員」を拡充しました。

④ 『誰もが安心して暮らせるまちをつくる』

市民の健康寿命の延伸を目指す取組や、「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取組、総合療育センターの再整備や八幡病院の移転改築を実施しました。

また、高齢者の運転免許証自主返納の支援や通学路の安全対策、旦過地区のまちづくりと合わせた河川整備や、橋梁・トンネル等の長寿命化対策などを推進しました。

さらに、平成30年7月豪雨による災害関連として、被災した道路、河川、公園、農林業施設、学校施設、市営住宅、保育所の復旧や補修を行うとともに、災害に関する情報を配信する防災アプリの導入などを実施しました。

3. 令和元年度9月補正予算について

一般会計で5億2,886万円の増額、特別会計で9億3,536万円の増額、企業会計で2,000万円の増額を行うこととし、補正後の予算規模は、全会計で1兆1,806億9,064万円となります。また、一般会計において、7億円の債務負担行為を設定しています。

今回の補正予算は、宿泊税制度を創設するための条例議案と合わせて、令和2年度から「宿泊税」を賦課徴収するため、必要となるシステム構築や宿泊事業者等への説明、周知等に要する経費を計上しています。

また、本年5月8日に滋賀県大津市で発生した園児たちが犠牲となった交通事故を受け、防護柵や車止めなど交通安全施設等の緊急整備に要する経費のほか、旧八幡病院の迅速な跡地利用の検討に必要な土壌汚染状況調査に要する経費を計上しています。

そのほか、福岡県森林環境税を財源とする県補助金の内示増に伴い、荒廃森林整備に要する経費などを計上しています。

特別会計補正予算では、介護保険特別会計で、平成30年度決算に伴う介護給付費負担金等の国・県への返還に要する経費などを計上しています。

即実行 つねおが行く!



ブログ更新中!! 即実行の実績の一部を記載しています。

<http://ameblo.jp/tanaka-tsuneo/>



八幡西区則松

以前より、北九州市住宅供給公社の則松団地側の法面から下にある民地に雨水が流れ込み、宅地内にまで雨水が浸入している状態でした。昨年、団地側の法面の吹き付け工事が完了し、綺麗になりましたが、さらに雨水の浸入が多くなり、陳情を受けておりました。浸入する雨水が迂回できるように、民地に水路を通していただけないか地権者の方と折衝して、下記画像のようになりました。雨水の浸入もなくなり、住人の皆さんは安心されたようです。



改修前



改修前



改善後



改善後

八幡西区則松東

八幡西区則松東の婦人会長から「桜並木の根が張ってブロックが崩壊しそう」「桜も倒木しても困る」と相談がありました。早速、市の担当部局に相談し、この度、改修が完了しました。根つ子を切って、倒木の恐れもなくなりました。



改善前



改善後

八幡西区鷹の巣

八幡西区鷹の巣3丁目にある上保公園の市民トイレの改修が完了しました。以前から公園利用者や地域の方より要望をいただき、現在の場所から移動して、新たに設置されました。バリアフリーで使い勝手も良く、明るいイメージのトイレに生まれ変わりました。防犯対策もばっちりです。トイレの清掃などは公園を利用している団体が行うことになっています。



改善前



工事中



改善後



改善後

八幡西区永犬丸東町

八幡西区永犬丸東町にある道路の舗装の要望をいただきました。奥に集合住宅がある場所で、1月に住人の方と現地を立会しました。市道と私道が隣接しているため、私道の舗装については地権者の方にご負担いただきました。地域の皆さんは大変喜んでおられます。



改修前



改修前



改善後



改善後

八幡西区の場町

八幡西区の場町20番の溝蓋は、下記画像のように老朽化し、車両などの重量物にも耐えられない状態で、改修の要望をいただいております。後日、重量物に耐えられるように溝蓋と併せて側溝の改修工事が完了しました。



改善前



改善後

八幡西区大平

八幡西区大平一丁目にある私道の舗装の要望をいただきました。地権者の方から申請書類に署名捺印をいただき、平成29年に提出していました。5月に「あれどうなった?舗装」と言われて、慌てて再度依頼しました。早急な対応をしていただき、下記画像のように舗装は完了しています。地域の皆さんも大変喜んでおられました。



改善後



改善後

八幡西柔剣道場

八幡西柔剣道場のトイレが和式から洋式へ生まれ変わりました(1階と2階で合計3台)。数年前から和式から洋式への改修を要望していると、5月に開催されました八幡西柔剣道場運営委員会で報告がありました。また、昔と違って利用者の子どもの多くは、和式では用は足せないとの事で、保護者からも熱烈的な要望をいただいております。8月25日(日)に八幡西地区少年柔道大会が開催され、多くの利用者が来場しました。皆さんとても喜んでおられました。



改善後



改善後

今年になって、二つ大きな出来事がありました。一つは、2019年3月4日、北九州市議会の議会運営委員長に就任したこと。二つは、議会運営委員会は、年4回開催される定例会だけでなく、年間を通して市議会全体の円滑な運営をつかさどる重要な委員会です。議会運営委員長は各会派を代表する委員の方々を束ねるポストであり、任期は2年です。今回、このような名誉ある役職に就任できましたのも、日頃よりご支援いただいたおかげです。皆様方のおかげと心から感謝申し上げます。

議会運営委員会では、年4回開催される定例会の日程や、質問者の順番決め、市長や議員から提出された議案について議会に諮る前に内容を審査する機関です。定例会以外の時期は、議会運営の更なる円滑な運営のために議論を重ねます。

例えば、議員に配布される資料は年間にすると膨大な量になるため、印刷物の経費削減を目指す「タブレット導入」や、市民に議会の様子を放映する「ケーブルテレビ・ネット中継の拡大」などについて検討します。

他にも、赤ちゃん・子供連れの傍聴者への対応や議会棟内のバリアフリー化などについても協議し、とてもやりがいを感じています。

皆さんのご期待に添えるよう、今後も開かれた議会運営に尽力してまいります。

それからもう一つの出来事は、私が代表を務める則松金山川コースモス会の35年に渡る植栽活動の功績が認められ、「緑化推進功労者」として、「内閣総理大臣表彰」を受賞しました。

受賞式では、平成天皇皇后両陛下に拝謁することができたうえに、その後のレセプションにおいて、両陛下とお話する機会もいただき大変感激しました。

先代の父親からバトンを受け継いだ議員活動と花咲く街づくりの地域活動が、それぞれ評価を受けたことは、私にとって大変感慨深く、また嬉しくも身の引き締まる、平成最後を飾る大きな出来事となりました。

今後も地道に活動を続け、決して驕らず、慢心せず、市政・市民のために邁進する所存であります。

議会運営委員長就任と内閣総理大臣表彰!

